

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部機械工学コース 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ckondou▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ME-D301(工学部1号館 3階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2527		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し,自主的に知的活動に取り組み,指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に,口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-1の"自ら学び,考え,主張し,行動することができる"に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配付された資料を事前に熟読し, 毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて, 文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配付する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,シラバスと成績評価基準の説明,自己紹介(1年生担任)(対面)
第2回	文献・資料の探し方,図書館ガイダンス(対面)
第3回	情報セキュリティ基礎講習会(ICT基盤センター資料による講義)(対面)
第4回	ポートフォリオ説明,入力演習(対面)
第5回	関数電卓の使い方(対面)
第6回	レポートの書き方・提出のルール,プレゼンテーション(対面)
第7回	機械工学の構成と概要(1年生担任)(対面)
第8回	材料力学概論(対面)
第9回	機械力学概論(対面)
第10回	流体力学概論(対面)
第11回	熱力学概論(対面)
第12回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 実施要領,班分け,課題の決定(対面)
第13回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 課題調査(対面)
第14回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 課題調査とプレゼンテーション準備(対面)
第15回	班別プレゼンテーションと最終個人レポートの作成・提出(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	浜崎 真一 / Hamasaki Shinichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	浜崎 真一 / Hamasaki Shinichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	浜崎 真一 / Hamasaki Shinichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部電気電子工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	教務委員 浜崎 hama-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教務委員 浜崎:工学部2号館507 チュータ教員については講義資料で掲示する。		
担当教員TEL/Tel	教務委員 浜崎 095-819-2548		
担当教員オフィスアワー/Office hours	教務委員 浜崎:金曜5時間目 チュータ教員については各自で問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	電気電子工学入門（対面）
第3回	電気電子工学入門（対面）
第4回	電気電子工学入門（対面）
第5回	情報セキュリティに関する講義（対面）
第6回	図書館ガイダンス（対面）
第7回	ポートフォリオ作成（対面）
第8回	ラーニングティップス，ロジカルライティング（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	コンピュータ利用ガイダンス：実験関連レポート作成（対面）
第11回	コンピュータ利用ガイダンス：実験関連レポート作成（対面）
第12回	コンピュータ利用ガイダンス：プレゼンテーション作成（対面）
第13回	グループ研究テーマに関するプレゼンテーション資料作成
第14回	グループ研究テーマプレゼンテーション，ディスカッション（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 逸鴻		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 逸鴻		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 逸鴻		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chan.iathong▲nagasaki-u.ac.jp (陳) (メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館5階教員・ゼミ室502		
担当教員TEL/Tel	095-819-2599 (陳)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3校時, メールにて随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第4回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第5回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）（対面）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 聖三 / Nakamura Shozo		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	中村 聖三 / Nakamura Shozo		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	中村 聖三 / Nakamura Shozo		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shozo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 教員・ゼミ室309		
担当教員TEL/Tel	095-819-2613		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日4校時。それ以外も対応しますが、できるだけ事前にメール等で連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の ” 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：中村聖三 実務経験内容：川崎製鉄（株）での勤務経験 実務経験に基づく教育内容：民間企業での勤務経験を活かして、社会で必要とされるデータ分析技術の基礎を教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	ラーニングティップス（ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール）（対面）
第3回	資料収集ガイダンス、 情報セキュリティ（対面）
第4回	図形表現に関する演習（様々な表現に触れる・アイスブレイク）（対面）
第5回	図形表現に関する演習（図解思考の方法）（対面）
第6回	図形表現に関する演習（用途に応じたグラフの種類の選択）（対面）
第7回	データ分析演習（データ分析の心構え）（対面）
第8回	データ分析演習（データ分析の設計）（対面）
第9回	データ分析演習（データ分析の事前チェック）（対面）
第10回	データ分析演習（分析方法の選択）（対面）
第11回	データ分析演習（標準偏差の使い道と求め方）（対面）
第12回	データ分析演習（グループ間の差の確からしさの検証方法）（対面）
第13回	データ分析演習（分析結果の受け止め方と伝え方）（対面）
第14回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）（対面）
第15回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 誠二 / Suzuki Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 誠二 / Suzuki Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 誠二 / Suzuki Seiji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssuzuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	水圏環境研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2623		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 16時10分~		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等
第2回	ラーニングティップス（ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール）
第3回	資料収集ガイダンス、情報セキュリティ
第4回	図形表現に関する演習（様々な表現に触れる・アイスブレイク）
第5回	図形表現に関する演習（図解思考の方法）
第6回	図形表現に関する演習（用途に応じたグラフの種類の選択）
第7回	データ分析演習（データ分析の心構え）
第8回	データ分析演習（データ分析の設計）
第9回	データ分析演習（データ分析の事前チェック）
第10回	データ分析演習（分析方法の選択）
第11回	データ分析演習（標準偏差の使い道と求め方）
第12回	データ分析演習（グループ間の差の確からしさの検証方法）
第13回	データ分析演習（分析結果の受け止め方と伝え方）
第14回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）
第15回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石橋 知也 / Tomoya Ishibashi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	石橋 知也 / Tomoya Ishibashi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	石橋 知也 / Tomoya Ishibashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	itomoya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	1号館3階 教員・ゼミ室304		
担当教員TEL/Tel	095-819-2611		
担当教員オフィスアワー/Office hours	別途指示する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の ”自ら学び、考え、主張し、行動することができる” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等
第2回	ラーニングティップス（ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール）
第3回	資料収集ガイダンス、情報セキュリティ
第4回	図形表現に関する演習（様々な表現に触れる・アイスブレイク）
第5回	図形表現に関する演習（図解思考の方法）
第6回	図形表現に関する演習（用途に応じたグラフの種類の選択）
第7回	データ分析演習（データ分析の心構え）
第8回	データ分析演習（データ分析の設計）
第9回	データ分析演習（データ分析の事前チェック）
第10回	データ分析演習（分析方法の選択）
第11回	データ分析演習（標準偏差の使い道と求め方）
第12回	データ分析演習（グループ間の差の確からしさの検証方法）
第13回	データ分析演習（分析結果の受け止め方と伝え方）
第14回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）
第15回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	馬越 啓介 / Umakoshi Keisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	馬越 啓介 / Umakoshi Keisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	馬越 啓介 / Umakoshi Keisuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumks@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館2階 錯体化学研究室1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2672		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面） ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	（対面） 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	（対面） 調査についての個人発表I（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第4回	（対面） 調査についての個人発表II（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第5回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション ディスカッション、グループワークの進め方
第6回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング、科学的思考の指導
第7回	（対面） 研究室見学
第8回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	（対面） プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	対面） プレゼンテーションに関する指導
第11回	（対面） プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	（対面） プレゼンテーションの練習
第13回	対面） プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	（対面） プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	（対面） レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野寺 玄 / Onodera Gen		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	小野寺 玄 / Onodera Gen		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	小野寺 玄 / Onodera Gen		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onodera@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 生物有機化学実験室8		
担当教員TEL/Tel	095-819-2679		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の ” 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面） ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	（対面） 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	（対面） 個人発表I（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第4回	（対面） 個人発表II（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第5回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション ディスカッション、グループワークの進め方
第6回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング、科学的思考の指導
第7回	（対面） 研究室見学
第8回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	（対面） プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	（対面） プレゼンテーションに関する指導
第11回	（対面） プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	（対面） プレゼンテーションの練習
第13回	（対面） プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	（対面） プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	（対面） レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030A9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 海 / Kamada Kai		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	鎌田 海 / Kamada Kai		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	鎌田 海 / Kamada Kai		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kkamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟6階606号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2657		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の “ 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第4回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第5回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）（対面）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	海野 英昭 / Unno Hideaki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	海野 英昭 / Unno Hideaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	海野 英昭 / Unno Hideaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	unno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 生体分子化学実験室3-5		
担当教員TEL/Tel	095-819-2685		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時（前もってメールで連絡を行う事）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の “ 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第4回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第5回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）（対面）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（工学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	DAO THI NGOC ANH		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	DAO THI NGOC ANH		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	DAO THI NGOC ANH		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anh.dao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究等705室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで質問を受け付ける。直接質問したい場合はメールでアポイントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第4回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導（対面）
第5回	個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）（対面）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030B3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	瓜田 幸幾 / Urita Koki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	瓜田 幸幾 / Urita Koki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	瓜田 幸幾 / Urita Koki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	urita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟802室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2668		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義前後 その他の時間はメールにて事前に連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の "自ら学び、考え、主張し、行動することができる" に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施する。 状況に応じて、オンラインでの出席を認める場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面） ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	（対面） 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	（対面） 個人発表I（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第4回	（対面） 個人発表II（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第5回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション ディスカッション、グループワークの進め方
第6回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング、科学的思考の指導
第7回	（対面） 研究室見学
第8回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	（対面） プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	（対面） プレゼンテーションに関する指導
第11回	（対面） プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	（対面） プレゼンテーションの練習
第13回	（対面） プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	（対面） プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	（対面） レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西川 貴文 / Nishikawa Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西川 貴文 / Nishikawa Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西川 貴文 / Nishikawa Takafumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishikawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館教員・ゼミ室311		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) データの分析方法を選択することができる。 2) データの分析結果にもとづいて必要な答えを導き出すことができる。 3) データの分析結果を論理的に説明できる。 4) わかりやすいレポート作成ができる。 主としてDP- の "自ら学び、考え、主張し、行動することができる" に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配付された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、データ分析		
教科書・教材・参考書/Materials	原則として授業の各回において配付する。 毎回の授業において各自PCを使用するので必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等
第2回	ラーニングティップス（ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール）
第3回	資料収集ガイダンス、情報セキュリティ
第4回	図形表現に関する演習（様々な表現に触れる・アイスブレイク）
第5回	図形表現に関する演習（図解思考の方法）
第6回	図形表現に関する演習（用途に応じたグラフの種類の選択）
第7回	データ分析演習（データ分析の心構え）
第8回	データ分析演習（データ分析の設計）
第9回	データ分析演習（データ分析の事前チェック）
第10回	データ分析演習（分析方法の選択）
第11回	データ分析演習（標準偏差の使い道と求め方）
第12回	データ分析演習（グループ間の差の確からしさの検証方法）
第13回	データ分析演習（分析結果の受け止め方と伝え方）
第14回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）
第15回	データ分析演習（ケース演習：個人の課題を持ち寄りグループ作業）